

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一支部長

西宮市立浜脇中学校

私もネットのニュースより新聞紙の記事の方が詳しく書かれていたり、真剣に構造を考えつくられている人などよく伝わってくるので好きです。中学校でNIE活動をするまで新聞を読むことが全くなく、情報は朝のニュースでしか取り入れてなかつたので新聞を読むのは色々意味で大切だと思います。

例えは、文章を読む力がついていたり、難しい漢字も知れたりするし、色々なジンクルの情報を得られます。

また、今回、NIE記者派遣事業で読者の目に止まりやすい見出しをよく考えて新聞の全ての部分に丁寧に時間かけられているのかすごいと思いました。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一支部長

西宮市立浜脇中学校

記者の人たちのイメージがだいぶ変わった。話を聞く前は、あまりよくないイメージがあたもの、講話を受けて、それはあるんだ。など感じることが多くあったがひとつ納得したのは権力かんじである。たしかに、記者が見ないくだされ興味がないので、ほんとかじになってしまった。自分が悪い事をした、すぐ記事になって、全国民に知られるてしまうと言えど、毎日がおり楽しいではないのではなく、少し心配な部分はありますから、上の人が全ての権力を握ってるのはおかしい、これがで、そんなもんなんかないと思いました。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一支部長

西宮市立浜脇中学校

記者の人は、色々な場所に行き体験してみたい人なんだよと思ひました。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一支部長

西宮市立浜脇中学校

新聞はちゃんと正しい情報をつかって調べた上で載せているから、ネットニュースよりも信頼されるんだなと思いまして

私はとくにオリンピックの話が心に残りました。  
オリンピックのような大きな行事に意見を言えることがすごいな  
と思いました。

新聞の見出しを考えたとき、思っていたよりも難しくて、  
新聞社の人たちがそれを毎日やっていると思うと本当にすごいことなん  
だなと思いました。

私は新聞あまり読まないけど、読むときはこの話を思い出して大勢に読みたいです。

新聞の表示を決める人たち、ですかいなーと思いました。なぜなら、自分で考えてみた時、こう難しくて以外と困ったからです。みんなの表示を見て思ったのは、ほとんどがやると思っていたけど、以  
外とかやらないでしかも、洋服の作品とかとくに入ってる作品がいいのは、あえてスッキリめたい  
なかんかよくなりました。あと、もう一つスコアで思ったのは、ちょっとした、て言うたら一つつかれたる  
かもこれまでんかいちょとしたことで初めて見た人みたいに興味を持ち本当だったうううううううううう  
せんになる、ていうのかスコアなーと思いました

私達がNIEで取り組んでいる新聞の記事一つにつき一人一人の記者さ  
人が裏をとっていて、そのためにはリコストや時間をかけているとい  
うところで、驚きました。新聞をより信じることができるようになりました。

中学でNIEをするまでなかなか新聞を読まなかったのですが、  
最近では、NIE以外でもニュースに興味をもつようになりました。そして  
新聞の大切さもあらためて感じました。

フーリント学習での、タイトルを作るなど、ふた人の学習の内容をわかり  
やすく伝えるためのヒントになったと思いました。  
(まとめ)

新聞の見出しを考えるのが意外と難しかったので記事を作っている人は本当にすごいなと思いました。Power Pointの資料が見られなかったことが残念だ。たけどお話を聞けて良かったです。今まで新聞は全く読まなかっけど。(NIE以外) 読んでみようと思いました。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一  
西宮市立浜脇中学校

「読みたいな」と読者に思ってもらえるような目を引く新聞の見出しを考えるのは、時間をかけてもとても難しいことなのに、これを仕事にしている人はすぐに良い案を思いついて書けると知って、驚くと共に尊敬するなと思いました。そして、このことを仕事にしている人は沢山仕事をこなしてきた=楽しんで長年仕事をしてきたのではないかなど感じ、新聞の見出しを考える仕事がおもしろそうだと思いました。

NIEの活動で新聞を読む機会かとても多くなったので、これからは新聞の内容を知るだけではなく、私オリジナルの見出しを飾ってみようと思います。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一  
西宮市立浜脇中学校

今回の NIE 記者派遣事業で、記者は、「watch dog」という、権力などに、犬のようになえて意見を言うことの大切さを知りました。アメリカの地域の話で、新聞社がなくなった都市で、議員さんの給料が、何倍にもなったと聞いて、新聞社が、見はあるという役割でも活やくしていると知り、感動しました。

今回お話を聞いて感想をしました。  
新聞の作り方を見たり、見出しなどを読みながら注意深く見ることも大切だと思いました。  
今まで本から少し薄く見ましたが、なめて本から少し薄く見ました。

実際に見出しおつけるのはとても難しかったです。

どんなものも自分の目で確かめてみないと分からぬ。というのを聞いて、記者の仕事は大変だなと思いました。

悲しい場面にも直面すると思うけど、その分嬉しい時にもたくさん立ち会えると思うので、体験してみたいと思いました。

西見さんのお話を聞いて、新聞をよむことへの必要性を知りました。

そして、新聞をやって大変だと思いました。

これから、もう新聞を読む機会を増やそうと思いました。

新聞は権力がかたよりすぎないよう、バランスをとる役割があるという話がとてもおもしろかった。

また、他の業界と同じように、たくさんの会社が共闘することで、事実にそなぞれ意見を載せる。

そのおかげで正確でわかりやすかったり、新しい目線が見つかる新聞ができると思った。これからは読むときは、この新聞がいい!!と読者に思わせるようなこだわりを探してみようと思う。

新聞社の人たちが、話し合いをたくさんして、1つの記事や社説をつくっていることが分かった。また、新聞があることで、権力監視などにつながっているということを初めて知った。

今度から、新聞を読むときは、今回話してもらったことを思い出しながら読もうと思う。

新聞の見出しがいつも目に止まるような言葉でかかれています。自分もやってみたら全然いいのが思いつかなくてこれを毎日やってる新聞社の人はすごいと思いました。これからは新聞を読むときに見出しあげて、くり読んでみようと思います。

最初から知っていたことや、知らないことがたくさん聞けたので、すごくおもしろかったです。

新聞に関する貴重なお話を多く聞けて、たくさんの方を見たくなりました。中でも一番関心を持って、一番驚いたのは、「新聞社は権力を監視している」というお話を。新聞は紙で情報を広めるだけでなく、そんな役割も持っていたんだと、驚きました。また、お話を聞いていて「自分がわかりやすく感じたり、説得力があるを感じた場面もたくさんあり、普段から新聞をつらうり読んだりしてるから今の自分と思いまい。お話を聞けて、今後は学校のNIE活動により精を出せそうです。

西見さんと話を聞いた時に新聞に使う写真やグラフ、それに合った文章の作成、出来た記事のちょっとした題名などといろんを自分で工夫がされていて大変だけど頑張ってほしいです。家で新聞はとっているのでNIEの時だけでなく、ひまな時に見たりしようと思いました。

記者の人達は毎日取材や新聞作成をして、急がしいけれど、新聞を読む人に分かりやすく作成しているのが、とてもすごいなと思いました。

新聞というのは見出しただけで言ふの内容がああんだかーと思っています。学校でNIEをいろいろなのがあります。

今回の授業で、新聞の見出しを考えることはとても大変なことなんだということがわきました。でも、その分やりがいを感じることもできるだろなと思いました。新聞記者の方々も、すごく気持ちを込めて新聞を作っていることを知り、すごいなと思いました。

〆切 1月 21 日 (金) 朝学活

このような記者の方に話を聞かせてもらう機会あまり無いと思ったので話していくたしたこと忘れないようにしておきたいと思います。  
その中でも心に残っていることは新聞が政治家たちをくせいしているという話です。

僕は新聞記事を書く時に読む人がどう見出しを見てすぐに分かるように表記するかを勉強した。

そして記事を書く人。見出しをつける人など、そのやうな事やる事にプロがいるんですね。僕は新聞を読む時に見出しなどに中身を読み取れると思いました。

今回の講座で勉強にならなかったのです。

西見さんは大事にされていましたこと等がとても伝わりました。

質問の時間も勉強になることがたくさんあってとても楽しかったです。